

危険物申告PDF、関空でもメール受託

■日本貨物航空

日本貨物航空（NCA）は17日、危険物申告書（DGD）のPDFファイルを電子メールで受託する運用を関西空港でも開始したと発表した。これまで対象としていた成田空港に加え、関空にも拡大した。対象貨物はeAWB（電子航空貨物運送状）を適用した933券面で輸送する国際貨物。対象便は日本発のNCA運航便とする。

電子メールの送信先は、関空搬入分がANA Cargo上屋（edocs_ana@anacargo.jp）、成田搬入分がNCA上屋（nca_e-dox@nca.aero）。プ

ライベートアドレスからの送信は避けるよう求めた。DGDは必ずカラーで、マスター・エア・ウェイビル（MAWB）番号を記載して送付する。添付PDFファイルの画質は300dpi以上を推奨する。ファイルは複数添付できるが、10メガを超えた容量のメールは受信できない。

電子メールの件名にはDGD、代理店コード、搬入空港（NRTまたはKIX）の順で記載する。本文は不要で、PDFのファイル名にはMAWB番号を記載する。1つのPDFファイ

ルに複数のMAWBデータをまとめて送付することはできない。1つのMAWBにハウス・エア・ウェイビル（HAWB）番号が異なる複数のDGDがある場合は、HAWB番号ごとにファイルを作成し、MAWB番号に枝番号を追加する。MAWBの電子情報（FWB）の送信時にはSCC欄に「EDG」を入力する。

NCAは2024年6月、成田空港でDGDのPDFファイルを電子メールで受託する本格運用を開始し、対象空港を順次拡大する方針を示していた。